



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

令和2年度 第4号 (7月31日発行)

複眼の視点を—こんな時代だからこそ—

2年4組 担任 上村 和孝

別館の方からようやく蝉の音が聞こえ始めました。待ち遠しかった夏空。この半年みんなよく耐え抜きましたね。こんな時、私は以下の言葉を頭に思い浮かべます。

Tomorrow is another day. (明日は明日の風が吹く。)

映画「風と共に去りぬ」で主人公が苦境に立たされた場面で「私には故郷がある。明日はまた別の日であるはずよ。」と物事が良い方向へ向かうことを期待して放たれたセリフとのこと。私はこの言葉を「**明日はもっといい日になる。**」と解釈し、苦しいときには思い出すことにしています。

さて、8月になると自分で1日の時間をマネジメント(管理)して過ごす日々が増えます。各教科からは実力考査、さらに、その先に向けての課題が与えられています。ここでは、「**何のために学ぶのか**」について一例を示すことにします。

今から20年ほど前に、BSE(狂牛病)問題が起こり、米国産の牛肉が輸入停止になったことがあります。このBSEとは、牛の病気の一つ(牛海綿状脳症)で、BSEプリオンと呼ばれる病原体に牛が感染した場合、牛の脳の組織がスポンジ状になり、異常行動、運動失調などを示し、死亡するとされています。BSEに感染した牛の脳や脊(せき)髄などを原料としたえさが、他の牛に与えられたことが原因で、英国や米国などを中心に牛へのBSEの感染が広がり、日本でも2001年9月以降、2009年1月までの間に36頭の感染牛が発見されました。

2003年から輸入停止となった米国産牛肉の輸入再開をめぐる、大阪大学で全ての学部の研究科から、専門を超えて大学院生が参加したセミナーがあったそうです。「米国産の牛肉を輸入再開するためにはどのような条件を付したらよいか」との問いに、医学・生物学系の大学院生からは病理学的な発言があり、原因論の応酬がありました。そこに、政治学・経済学系の院生は原因論より日米の外交関係が重要との立場から、政治力学のなかでこの問題を考えないと結論は出ないと主張します。すると今度は歴史学や文化人類学専攻の院生から、人間が他の動物を飼育し、そこから食肉を得るという食文化のあり方、肉骨粉というえさを与えた牧畜文明のあり方自体を問うべきだとの意見が出て、議論はどんどん厚みを帯びたそうです。(『岐路の前にいる君たちに』 鷺田清一 式辞集より)

グローバル化の進行する現代社会の諸課題は、このように1つの視点では解決できないものだと思います。将来みなさんは自分の最も興味関心の高い分野への進路選択をすることでしょう。その時に忘れてほしくないのは、**複眼の視点から物事を考えること**、そして、**自分の専門のみならず、世界を広く見つけ、相手の立場に立って思考するための教養の大切さ**です。大学をはじめ、上級学校は複眼の視点から物事を考える機会、そして、まだ知らないさまざまな分野にわたる知識を教養として得る機会が保証されている場なのです。

「**明日はもっといい日になる。**」そのために自ら考え、工夫する複眼の視点と教養を持つ人が、一人でも育っていくことを願います。まずはこの夏にすべきことを明らかにして、ここから始めましょう。



■ 進路指導部から：令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストについて

6月30日に独立行政法人大学入試センターより、「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト」の実施要項が発表されました。今回は、その内容について説明します。

- (1) 試験実施期日 ① 令和3年1月16日(土)・17(日)
② 令和3年1月30日(土)・31(日)

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う学業の遅れに対応できる選択肢として試験が**2回設定**されています。但し②は、「学業の遅れ」のため当該日程で受験することが**適当**であると在学する学校長に認められた者が対象です。試験場は、県内の予定です。

※ ①で試験が受験できなかった生徒に対する追試験も、②で実施されます。

- 甲南高校としては、1) 全国に比べても休校とした日数が短かった点。
2) 国公立大学の二次試験の日程は、変更がない点。(前期：2月25日～)
3) 共通テスト後には、すぐ私立大学試験が始まる点。などを考慮した上で、
今は全員、①で受験することが適当だと考えています。但し、今後の感染状況によっては、個々に対応が必要になるかもしれません。何かありましたら、各担任に相談してください。

※ さらに1月30・31日も疾病・負傷等で受験ができない生徒のため、**特例追試験**を設定。その場合の実施期日は、**2月13日(土)・14日(日)**(会場は、全国で2カ所を設定)

- (2) 試験時間割 令和2年度大学入試センター試験とほぼ同様の日程です。

試験日	出題教科・科目		試験時間
1日目	地理歴史 公民	「世界史B」・「日本史B」・「地理B」 「倫理・政経」・「現代社会」など	2科目 9:30～11:40 1科目 10:40～11:40
	国語	「国語」	13:00～14:20
	英語	「リーディング」 「リスニング」	15:10～16:30 17:10～18:10
2日目	理科①	「生物基礎」・「地学基礎」など	9:30～10:30
	数学①	「数学I」・「数学I・数学A」	11:20～12:30(70分)
	数学②	「数学II」・「数学II・数学B」	13:50～14:50
	理科②	「化学」・「物理」・「生物」	2科目 15:40～17:50 1科目 16:50～17:50

※ 詳細は、独立行政法人大学入試センターのホームページ等で確認できますので、一度はアクセスしてみてください。不明な点があれば、進路指導室まで。